



令和7年7月18日 4号

校長室の窓から

座間市立東原小学校（電話253-3145）

東原小キャラクター「かめっち」

いよいよ1学期最終日を迎えて夏休みに入ります。充実した夏休みを送ってほしいと思います。1学期は、いろいろな面でご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。2学期に子どもたちに会えるのを楽しみにしています。



キャンプを終えて

5年生は、1泊2日の初めての宿泊のキャンプに行きました。大いに楽しんだのはもちろんですが、学びの多い2日間となりました！

主役は自分

キャンプ前の学年集会やキャンプ中の先生の話では、担任の先生たちが「主役は自分」と子どもたちと確認していました。その言葉を受け止めて、1人1人がよく動いていた2日間。他人任せでなく、受け身でなく、「やるのは自分！」という意識で、考えて行動する大切さを実感しました。この意識は、毎日の生活で、どの学年にも通じる大切なことです。

そのような意識が根底にあるためか、何事も予定していた時間よりも早いくらいに進みました。かまどの番人として大粒の汗を流している子、煤だらけの鍋を根気よくみがき続けてピカピカにした子…もちろん、うまくいなくて指導を受ける場面もありました。でも、それらのことは、きっとこれからの糧になると思います。

何もかも時間内で進む中、追跡ハイク（ポイントを探しながら班ごとに回るハイキング）では時間オーバーがありました。50分でゴールするという時間目標がありましたが、せっかくぴたり50分で戻ってきた班が「まだだよ！」「あと1分待つ？」など待っている間に3分オーバーとなっていました。5分以上早いのに「早く早く！」と急いでゴールする班もあり、それぞれの班での感覚の違いがおもしろいです。（余談ですが）

自分だけが楽しむのではない、すべての人が楽しむ

1人1人が自分の役割をしっかりと果たしたり、1人1人が全力で取り組んだりすることができると、楽しさが大きくなっていきます。全力で取り組んだどの活動も素敵な思い出になったと思います。

お弁当を食べるときに、私がお邪魔した班では、端にシートを敷いて話の輪に入りにくくなっている子に「もっと近くにおいでよ。」「そうそう、この辺とか。」と声をかけて、みんなで話ができる雰囲気を作っていました。「ここにいる誰もが楽しい気持ちでいるか」を気にかけて声をかけることができていることをうれしく思いました。

ゴールではない、次に進む1つのステップの場

キャンプを経て一回り成長した5年生と学校生活や夏休みのいろいろな経験を通してたくましく成長していく全校のみんなのこれからが楽しみです。